

日本介護支援専門員 協会の動向

平成二十五年六月十六日、第五回社員総会が開催されました。当協会からは、選挙の結果で当選した佐々木、松谷、木村代議員が出席いたしました。

木村会長からの冒頭挨拶で、十年間会長として務めてきたことを振り返られ、役員及び会員のお力添のおかげで、全国の介護支援専門員のため、頑張ることができたことについて感謝されました。

時期介護保険改正については、内容が秋口にはつきりしてくること、また介護保険部会には、介護支援専門員協会のポストを留意しているとのことでした。

そして、今回会長には立候補されないことと、これからは別の立場で、介護支援専門員の地位向上のため頑張っていきたいとおっしゃられました。

その後、平成二十四年度の事業報告、決算、平成二十五年度の事業計画、収支予算案が決議されました。

今回の社員総会は役員改選期と重なるため、当日出席した代議員七十一名による会長候補者理事選挙、全国選出理事選挙が行われたほか、ブロック理事、および外部理事の選任が行われました。

会長候補者理事選挙は、第一回目が白木裕子十四票、鷺見よしみ二十七票、濱田和則三十票で、最高得票者が過半数を得ていないため、上位二名による決選投票が行われました。決選投票は、鷺見・濱田双方三十五票と同票数であったため、選挙管理規程により「くじ引き」が実施され、鷺見よしみ様が当選しました。

全国選出理事選挙は十七名が立候補しました。選挙管理規程では、有効投票数の過半数を得た者のうち、得票数上位十名が当選となりますが、該当者が七名でしたので、当選者は七名となりました。

また、七月十二日には、都道府県支部長会議が開催されました。鷺見新会長よりの挨拶があり、皆さんの力を結集して、様々な課題について取り組み、現場の介護支援専門員の成功体験を積み重ねられるようにしたいとおっしゃられました。

県協会としては、社員総会、支部長会議とも、日本協会や介護保険制度に対するの質問事項を提出しております。支部長会議については今まで質問を受け付けておられませんでした。山口県が質問を提出したことをきっかけに今後は質問を受け付けてくださることとなりました。なお、詳細な内容については、当協会のホームページにアップしていますので是非ご覧ください。

topix 広島県・島根県と 研修の協定を結びました

平成二十五年四月二十七日、中国ブロック会議が、広島県介護支援専門員協会会議室で開催されました。

広島県、島根県とはいろいろな意味で相互連携を図っていききたいという想いがあり、それを実現する一歩として、研修の相互乗り入れをしようかという議論が盛り上がっていました。

そこで今回、研修相互乗り入れに関する協定書を取り交わしました。

このことにより、広島県、島根県協会が主催する研修会については、会員価格で参加できることが出来ます。また、当協会主催研修についても、広島県、島根県の会員の方々が参加できるようになります。

今後研修だけでなくお互いの協会の情報を共有し、連携を図っていきたいと思います。

また、現座福岡県との研修等の連携についても着々と準備しています。

